

海老名市立柏ヶ谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年度 第1回)

- 1 日時** 令和4年5月21日(土) 10:05～11:50
- 2 場所** 海老名市立柏ヶ谷小学校 会議室
- 3 委員** 山崎久男委員、小幡信司委員、大矢和正委員、森山輝男委員
植木文夫委員、中垣洋委員、櫻井信夫委員、松本孝夫委員
加藤永歳委員、志村政憲委員、齊藤裕子委員、鈴木佳子委員
藤原絵里奈委員、麻生仁(校長)、姫野珠実(教頭)
青山明裕(教務主任)

- | |
|---|
| <p>【議題】</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 校長挨拶(2) 委嘱状交付(3) 自己紹介(4) 会長・副会長選出(5) 学年紹介(1・6年)(6) 今年度の学校経営方針と今後の行事について(7) コロナ禍における学校生活と地域との関わりについて(8) 意見交換(9) その他(10) 事務連絡 |
|---|

4 会議の内容

(1) 校長挨拶

学校運営協議会における委員の任期は2年であり、今年度から新しいメンバー構成となる。前年度からの再任の皆様には、これまで同様にご意見等お聞かせいただきたい。今年度新しく委員になられた方々にも、ぜひ新しい風を吹き込んでいただきたい。

(2) 委嘱状交付

海老名市教育委員会委嘱状の交付を麻生校長が代行

(3) 委員自己紹介

各委員が自己紹介を行う

(4) 会長・副会長選出（麻生校長）

- ・海老名市学校運営協議会規則 第13条に基づき、会長に山崎久男氏、副会長に志村政憲氏を選出
- ・海老名市学校運営協議会規則 第15条（会議の公開）について
会議は公開とし傍聴ができる。
会議の議事録は、海老名市教育委員会ホームページ上に公開となる。（原則として発言者を明記）
議事録の提出にあたっては、事前に議事録素案を全委員に配付し、発言内容の確認を図る。

(5) 学年紹介（1・6学年） * 議事の司会・進行は、会長に移行

1 学年担任より

- ・1年生の学校生活の様子を紹介
- ・委員の方々へのお願い
1学年の生活科「昔あそび」の際に地域の方々に独楽まわしなどの遊び方を教えていただきながら交流を深めたい。また、自然と親しみながら季節の移り変わりを学ぶ単元があり、学校の近場で木の実が取れる場所などの情報があれば教えていただきたい。

6 学年担任より

- ・学年目標『日進月歩』～今までの自分を越える～について
行事への取り組みを通して最上級生として成長していく。また、1年生との交流活動を通して、相手を思いやりながら行動ができるようになることをめざしている。
- ・委員の方々へのお願い
「総合的な学習の時間」として『キャリア教育』に取り組み、自分の将来について考える学習を計画している。今年度も地域の諸先輩方にご自分の経験や生き方について子ども達に語っていただく機会をつくりたいと考えているので、ご協力いただきたい。

櫻井委員：テレビのクイズ番組等を観ていると今の子ども達の知識の豊富さに感心する。しかし、その知識が自分の将来に活かされるのかと思うことがある。
新聞等の報道で取りざたされている「戦争」や「体育座り」について話し合うことはあるのか。

6 学年担任：社会科の歴史の学習で得た知識を自分の生活にどのように活かしていくかを意識させる学習はしている。また、体育座りに限らず、新聞やニュース番組の内容は社会情勢も含めて、休み時間等に話をすることがある。

植木委員：ヤングケアラーが社会問題となっているが、現状でそのような児童はいるか。

6 学年担任：今はいないが、過去にそれに近い児童は在籍していたと考えられる。

加藤委員：ヤングケアラーの児童については見えづらい部分がある。PTAとしても、できるだけ状況把握に努め、バックアップしていきたい。

中垣委員：上級生と下級生がかかわりをもつことは、とてもよい。自分が小学生の頃は同級生よりも縦のつながりが強く、そこから学ぶことが多くあった。教える、教えられるというコミュニケーションは、社会に出てからは、より大切になる。また、弱いものを助けること、上級生に教わるという活動はよい教育の一つだと思う。

山崎会長：日常の縦割り活動や行事は行っているのか。

6 学年担任：学校全体の縦割り活動は行っていない。新型コロナウイルス感染症における新しい生活の中では、実施は難しい状況にあった。

大矢委員：1 年生担任から昔遊びを教えてほしいとのことだが、以前は民生委員にもお願いしていたと思う。実施はいつ頃になるのか。

小幡委員：以前は冬場に行っていた。窓口は民生委員の大貫さんがされていた。

1 学年担任：コロナの感染状況をみながら予定を立てたい。

松本委員：昨年度、6 年生の「マイライフサポート」という総合学習で児童や先生方の前で話をしたが、自分の話を興味深く聴いてくれて、とてもよい経験になった。

山崎会長：6 年生の学習に協力していただける方、もしくは講師を紹介できる方がいれば、後ほどでもよいので学校に連絡してほしい。

（6）今年度の学校経営方針と今後の行事について

麻生校長：「令和 4 年度柏ヶ谷小学校学校経営方針」について

「めざす児童像」については、昨年度に児童の意見を取り入れながら作成したものである。「安全・安心な学校づくり」の欄にある、「健康・命を大切に作る自覚と態度の育成を図る（新型コロナ対策含む）」は、昨年度の学校運営協議会での意見を反映させたものである。今年度の学校経営方針のキーワードを「個別最適な学びの実現」とし、教職員で共通理解を図り、児童個々の状況を把握しながら、一人ひとりに寄り添った支援・指導を行っていく。

山崎会長：「インクルーシブ教育の推進」とあるが、具体としてどのような取り組みをしていくのかを聞きたい。

麻生校長：本校には特別支援級や通級教室を設置しているが、そこに在籍する児童が通常級においても、ほかの児童と同じ教育活動を受けている。すべての子どもが同じ場所で同じ教育を受けるといふ、インクルーシブ教育の理念を可能な限り実践していく。また、全ての児童に共通して使えるユニバーサルデザインの活用を推進する。音声教科書（デージー教科書）の導入についても教員間で情報共有し、支

援が必要な児童が活用できるような取り組みを推進していきたい。

山崎会長：「個別最適な学びの実現」に力を入れるということなら、もっと大きな文字で強調したらかうか。

鈴木委員：「読書活動の充実」が挙げられているが、読み聞かせボランティアとして活動していると、最近ではタブレットを使用した学習が増え、タブレットの文字は読めるが、本の活字が読めなくなっていることに不安を感じている。

青山教務主任：昨年度は、一人一台タブレット端末の導入やオンライン授業の試行等があり、特に多くの機会にタブレットを活用した。印刷物などの活字にふれる時間は意図的に学年に応じて設定していた。今後は教育活動に応じたタブレット活用の工夫が必要になってくる。

志村副会長：「地域とのつながり」の中の「長寿会による下校の見守り」については、現在、シニアクラブに木曜日、ゆめクラブに月曜日と金曜日の週3回、下校時の見守りをしている。これについては、平成30年度にオフィシャルになったものであり、長寿会の方々を全校児童に紹介し、児童に対して「すすんであいさつをしよう」という機会も設けた。当時、千葉県で起きた下校時の児童連れ去り事件を受け、PTA活動において児童の登下校の安全性を高めるためにできることを話し合い、実現に至るまでに2年間を要した。登校時（朝）は保護者の協力を得て、危険個所に立哨することになったが、下校時（放課後）の見守りは難しいということで長寿会に協力をお願いしたという経緯がある。できることなら、東柏ケ谷3丁目と柏ケ谷地区にも活動を拡大し、学区の全地区を網羅できることが理想と考える

麻生校長：登下校時の見守り活動の経緯について知ることができてよかった。すぐに変更することなどは難しいが、安全に対する児童の意識を深めることや見守り隊の方々をあらためて紹介するなど、できることから取り組んでいきたい。

（7）コロナ禍における学校生活と地域との関わりについて

麻生校長：コロナ禍であっても、できる限り学校教育活動を充実させていきたい

（資料 海老名市立小中学校「新しい生活様式」ガイドラインより）

- ・ P3 『海老名市の「地域の感染レベル」について』の「レベル2」の行動基準に沿って学校生活を継続していく。
- ・ P4 「感染防止の3つの基本」について、引き続き指導しているが、「5月24日から登下校時にマスクをつけなくてもよい」という旨のメールが教育長名、市長名で発信されることになる。（学校メール並びに市民宛のメールで配信される）
- ・ P10 「活動場面ごとの感染症予防対策について」は「学校教育活動では、マスクの着用を原則とする」と示されている。

植木委員：マスクの着脱については、子どもにとってわかりやすい規定を示せるとよい。

鈴木委員：体育の時は、マスクをはずしていると子どもから聞いている。

山崎会長：下校時に子ども達の元気のよい声が聞こえてくることがあるが、大きな声で話

すことについては、どのような指導をしているのか。

麻生校長：大きな声は出さないように指導はしているが、徹底は難しい。

植木委員：下校の見守りをしているときも、大きな声で話している子には注意はするが、子どもたちが明るく元気で楽しそうに話す様子を見ていると多少のことは仕方がないと思う。

藤原委員：家庭の方針で子どもそれぞれに違いがあり、その温度差の激しさを感じている。マスクをはずせない気持ちを抱えた子へのケアは大切だと思う。

加藤委員：マスクが心の面で安心材料になっている子もいる。「マスクをつけることはいけないこと」という雰囲気にならないようにし、マスクをはずさない子の気持ちを酌んだ指導をしてほしい。

鈴木委員：子ども自身に判断させるのは難しいことだと思う。

山崎会長：学校として、今後、指導の一貫性をたもつ必要がある。

志村副会長：登下校時にマスクをとることを可とするというのは、新しい生活に向かっての次のステップと考えると手順としてはよい。社会の状況によって対応していく必要はある。

櫻井委員：マスクをするしないはそれぞれの自由。ただ、自由ということを間違えて捉えないよう、丁寧に子ども達に教えてほしい。

大矢委員：子ども達のワクチン接種の状況を公表することは可能か。

麻生校長：正確な把握は難しい。「ワクチン接種のために欠席をする」と自己申告する児童はいる。現状として、ワクチン接種の有無に関して、子ども達の中で問題になっていることはいない。

（８）意見交換

「（８）意見交換」という項目を設けたが、ここでは特に意見は出なかった。

（９）その他

麻生校長：令和５年度に６０周年を迎える。節目として大切にしたい。昨年度の学校運営協議会でご意見をいただいたように子ども達が楽しめる事業を取り入れたいと思っており、正面玄関への時計の設置や航空写真撮影、コンサート等などのイベントを考えている

志村副会長：５０周年事業後は年間１０万円ずつ、周年事業のために積み立てをしているはずなので、６０周年までには１００万円の予算があると記憶している。

加藤委員：一昨年度、昨年度と２年間はコロナ禍であるためにＰＴＡ活動が中止になっており、予算にも余裕があると思うので確認する。

森山委員：昨年度、杉本小学校が４０周年記念であったが、航空写真の撮影と全校児童が風船を飛ばすイベントを行った。

藤原委員：上星小学校の５０周年記念では、航空写真で撮影した写真をファイルにしたものと児童が考えた学校のキャラクターがデザインされたトートバッグが配付された。

山崎会長：記念事業としてのアイデアがあれば、今後も学校の方に連絡してほしい。

大矢委員：神奈川県で教員が不足しているということを聞いたが、海老名市では教員は不足しているのか。

麻生校長：不足しており、定数を満たせていない学校もある。臨時的任用職員や非常勤講師等代替教師等も簡単には見つからない状況である。

山崎会長：若い教員が増え、産休代替教諭が多く必要になってきている。大学に勤めている時、学生に臨時的任用教諭の希望者を募ったことがあった。

志村副会長：非常勤講師は市費にて配置している。海老名市は他市に比べて予算的に恵まれており、非常勤講師や学習支援員などの派遣をしていることで、中学校で生徒が落ち着いて生活を送ることができているという成果があがっている。

(10) 事務連絡

- ・第2回学校運営協議会 11月18日（金）音楽会の参観を含む
- ・第3回学校運営協議会 令和5年2月25日（土）
- ・音楽会だけでなく、10月15日（土）に行う予定の秋季運動会もぜひ参観していただく方向で考えている。

閉会の言葉

志村副会長：メンバーが新しくなったが、このメンバーでの話し合いが徐々に活発になるとよいと思う。本日は、これで閉会とする。